

【小学校高学年部門】 優秀賞

大分がふるさと

大分市立春日町小学校 4年

はねだ やえ
羽根田 八重

わたしは今、大分県に住んでいますが、ずっとここで生まれ育ったわけではありません。わたしのお父さんはサラリーマンで転勤があるため、海外に引っ越しこともあります。じつさいに、昔は家族でシンガポールという国に住んでいました。そしてこれからもいろいろな所に引っ越し予定です。なので、わたしには、ふるさとというふるさとがありません。

そもそも、ふるさとは何なのでしょう。生まれ育った場所なのでしょうか。それとも、戻ってくるとなつかしく感じる場所なのでしょうか。住んだことのある場所なのでしょうか。わたしには、まだわかりません。

しかし、わたしは、この緑がきれいですなんだ海がある大分県を、ふるさとだと感じるようになっています。たとえば、わたしが公園の水飲み場で水遊びをしていたら、「水のむだ遣いをしたらダメだよ」と地域の人がしかってくれました。また、登下校中にお年寄りの人や地域の人が、見守りながら声掛けもしてくれました。地域の人に支えてもらい、成長できたので、この大分県をふるさとだと思うようになりました。大分県の人たちの優しい心がずっと変わらないでいてくれることを願っています。

また、わたしは、この大分県の緑がきれいな所やすんだ海がある所も大好きです。昔、家族と山に登って、見た町の景色がすごくきれいでした。また、山の上の空気は、とても新鮮で気持ちよかったです。今年の夏には、竹田のすんだ川で泳いだりもぐったりもしました。川の中にはたくさんのかわいららしい魚たちがいました。そしてなによりも一番好きなのは温泉です。お母さんや妹とのコミュニケーションの時間が生まれ、リラックスできるからです。

このようなたくさんの自然がある大分県を自慢に思います。これからも、この恵まれた自然がなくならないよう守っていきたいです。

将来わたしは、わたしを支えてくれた地域の人のように、人を思いやる優しさや、人のために行動できる力をもちたいです。

しかし、今わたしは、人を思いやれていないし、人のために行動できていません。たとえば、バスなどで、お年寄りの人が立っていても席をゆずる勇気が出ませんでした。だから、これからは、勇気を出して人を思いやって、人のために行動できるようになりたいです。

わたしは、もしもお父さんの転勤について行くことになり、大分県をはなれることになってしまっても、この自然が豊かで、優しい心をもつ友だちや地域の人がいる大分県に帰ってきたいと思います。わたしの「ふるさと」になってくれた大分にありがとうございます。